

ドキュメンタリー映画

『森のムラブリ』

(監督：金子遊／85分／2019年)

上映会と解説

2019年11月27日(水) 18:00-20:00

神戸市外国語大学 第2学舎 504教室



タイやラオスの森で暮してきたムラブリは、400人しかいない狩猟採集民。

消滅が危惧される彼らの言語を研究する学者・伊藤雄馬と村に入ったカメラは、定住化は進むが、互いの集団が「人食いだ」と言って対立する様を見る。

インドシナ半島のゾミアたるラオスの山中で、いまだノマド生活を送る集団に接触すべく奥地に入り、世界初の撮影に成功する。そこで目撃された現代の遊動民が抱える問題とは？

(左写真は映画の一部、ムラブリが火を焚く様子)

[解説者・出演]

伊藤雄馬氏

富山国際大学専任講師。島根県生まれ。京都大学大学院文学研究科研究指導認定退学。

タイ王国ナーン県およびラオス・サイニャブリー県を中心にムラブリ社会に入り込み、ムラブリ人の言語を調査研究している。

[当日の予定] (司会：神戸外大教授 林範彦)

18:00 開会と映画紹介

18:15-19:45 『森のムラブリ』上映

19:45-20:00 解説とまとめ、閉会

**本作品は2019年12月6日に東京・新宿 K's Cinema で行われる東京ドキュメンタリー映画祭に出品されます。神戸では先行的に上映されま
す！貴重な機会です。ぜひお越しください！**

対象は本学学生・院生・教員・職員および一般の皆様。申し込み不要です。直接お越しください。

主催：神戸市外国語大学記述言語学研究会 (代表：林範彦)

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B)「メコン川中流域を中心とする諸言語の言語実態と変容プロセスの研究」(JP17H02335, 研究代表者：林範彦)